

*** 杉崎さんのアルバムに10mパラボラアンテナ解体時の写真発見**

アーカイブ室新聞334号(2010年5月19日)号に「10mパラボラアンテナ解体時の写真発見」という記事を書いた。この記事は2010年3月で退職した西野洋平氏からの提供であった。今回の写真は、元東京天文台職員で長らく経理係長を務められた杉崎恒夫氏の御遺族から寄贈されたアルバムの中にあった。杉崎氏は東京天文台在職中、俳句、写真を趣味にしておられた。そのことを知っていた筆者は、三鷹市遺跡調査室から国立天文台の中にある「天文台構内古墳」が昭和46年3月に行われた第1回発掘調査のスナップ写真を探していると言われた際、恐らく杉崎さんが撮影しているものと思い、ご遺族にその写真を探してもらったのであった。残念ながら遺品のアルバムの中に古墳調査の写真は出て来なかったが、後日、ご遺族から杉崎さんの遺品である東京天文台関係のアルバム2冊が国立天文台に寄贈され、アーカイブ室にやってきた。

そのアルバムの中に10mパラボラアンテナ解体時の写真があったのである。西野氏から提供された写真はすでにクズ鉄の山になった1枚であったが、杉崎氏の写真はクレーンで解体中の写真であった。写真1は10mパラボラアンテナが入った懐かしい光景の写真である。杉崎氏の写真は趣味として撮られた芸術的なものが多い。



写真1 ヒメジヨンの花とパラボラと題された写真

写真1には、その当時、構内にあったポプラ並木が写っている。写真2が今回発見した10m パラボラアンテナのクレーンによる解体時の写真である。



写真2 クレーンによる10mパラボラアンテナ解体

写真2には、人物も写っており当時としては巨大な望遠鏡だったことがうかがわれる。



写真3 ピアの下に横たわるパラボラ

写真2、3が杉崎氏の写真であり、写真4が西野氏提供の写真である。



写真4 西野氏提供の10mパラボラ電波望遠鏡の解体時の写真